

取扱説明書

モナロウ レバーホイスト 軽量・強靱アルミボディ

注文コード：45857746, 45857755

このたびは、レバーホイスト 軽量・強靱アルミボディをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

危険 この表示内容が無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が切迫して想定される内容をしめています。

警告 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

注意 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「ケガや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

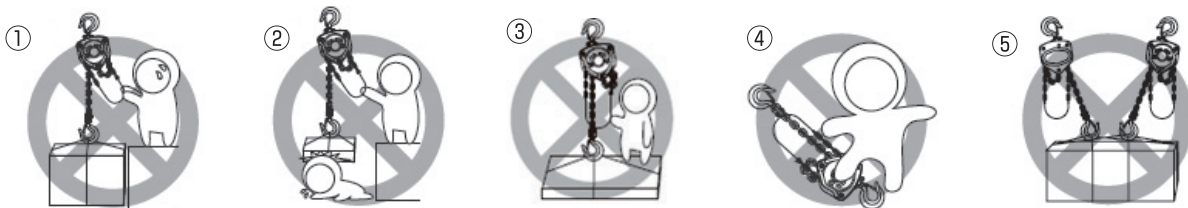
ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。
また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。

危険

取扱全般

- 本書の内容を熟知しない人は使用しないでください。 ● 本来の目的以外の用途では使用しないでください。 ● 使用前に必ず周囲の安全を確認してから使用してください。
- 定格荷重以上の荷重は絶対に加えないでください。(下図①) ● 吊り荷の下や、吊り荷の動く範囲には絶対に入らないでください。また、人の頭上を越えて荷を運搬しないでください。(下図②) ● 本製品は、人の持上げ、支持、搬送のいずれにも使用しないでください。(下図③) ● 脚で操作したりしないでください。(下図④) ● 複数のチェーンブロックで共吊りしたりしないでください。(下図⑤) ● 損傷があったり、異常音が出るチェーンブロックを使用しないでください。 ● ロードチェーンのねじれ、もつれ、亀裂、かみ合いに異常があったり、規定より伸びているもの、摩耗が激しいものは使用しないでください。 ● 本製品および付属品の改造は絶対にしないでください。



危険

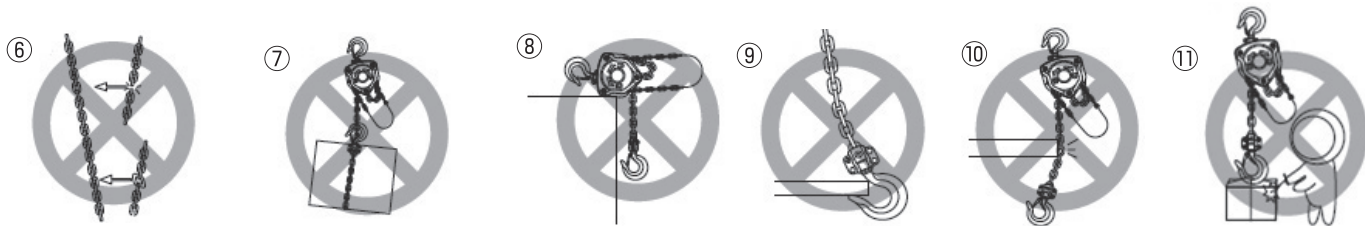
保守点検

- 保守点検、修理は、必ず事業者が定めた専門知識のある人が行ってください。 ● 強度を弱め破損するおそれがあるので、チェーンの熱処理、曲げ加工、切断、継ぎ足し、溶接は絶対に行わないでください。 ● 保守点検は、必ず吊り荷がない状態で行ってください。 ● 異常が見つかったときは、そのまま使用しないでください。 ● 保守点検のときは、「点検中」などの表示をして実施してください。

警告

ご使用前の警告

- ねじれ、もつれ、傷み、伸びのいずれかが生じているロードチェーンは絶対に使わないでください。(下記図⑥) ● フックをスリングとしては使わないでください。(下記図⑦)
- チェーンブロックを支持具として使わないでください。(下記図⑧) ● 荷をフックの先端で支えないでください。(下記図⑨) ● ロードチェーンを鋭利なものに接触させないでください。(下記図⑩) ● 吊り荷に溶接・切断しないでください。(下記図⑪) ● 吊った荷に人は乗らないでください。 ● 人の手引き力以外での操作はしないでください。
- 荷を吊った状態で操作位置を離れないでください。 ● 斜め引きをしないでください。荷の真上に本製品を移動させてから吊上げてください。 ● 建屋、構造物に引っ掛ける操作などをしないでください。 ● 吊り荷の反転作業はしないでください。 ● 操作中は荷と周辺から注意をそらさないでください。 ● 使用前に手鎖の動作を確認し、円滑に作動しないときは使用しないでください。 ● 使用前にブレーキの動作を確認し、ブレーキが確実に作動しないときは使用しないでください。 ● 宙吊りした荷を電気溶接しないでください。
- ロードチェーンに溶接機のアースを接続しないでください。 ● ロードチェーンに溶接用電極を絶対に接触させないでください。 ● 巻き上げの際は、ロードチェーンが張ったところで一度停止してください。 ● 損傷したチェーンブロック、および正常に動作しないチェーンブロックは使わないでください。 ● 吊した荷は揺らさないでください。 ● 下フックがチェーンブロック本体に触れる位置に来るような操作はしないでください。 ● ロードチェーンが固定具を引っ張る位置に来るような操作はしないでください。 ● チェーンブロックが極端なノイズが発生する場合には操作しないでください。 ● 荷物は、持ち上げたあとはゆっくりと安全に降ろしてください。 ● 荷は、長期間吊しておかないでください。 ● 巻き下げ時に巻き下げをし過ぎないでください。

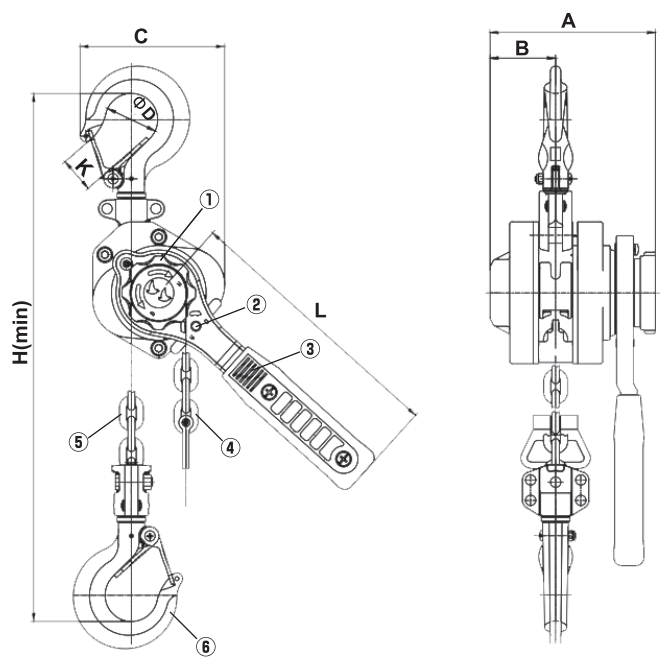


注意

ご使用上の注意

- 銘板の記述はすべて、はっきりと見えるようにしてください。 ● チェーンブロックは、日常使用の前に「日常点検」に従って点検してください。 ● 定格荷重を持つチェーンブロックを選ぶようにしてください。 ● フックが変形していないこと、フックがスムーズに回転することを確認してください。 ● フックの外れ止め金具が破損している場合は絶対に使用しないでください。 ● ロードチェーンに潤滑油を注してください。 ● 雨や水がかかる場所や、不適当な化学薬品等の特殊環境下では使用しないでください。 ● 作業に必要な揚程が十分であることを確認してください。 ● チェーンブロックの移動範囲全体がはっきりと見通せる場所で安全を確認してから操作してください。 ● 据えつけは、専門業者・専門知識のある人以外は絶対に行わないでください。 ● 据えつけは、自由に揺れ動くように吊り上げてください。

2 各部の名称・仕様



■ 名称一覧

- ①ハンドホイール
- ②切換レバー
- ③操作レバー
- ④吊り上げチェーン（遊び側）
- ⑤吊り上げチェーン（負荷側）
- ⑥下フック

注文コード	45857746	45857755
定格荷重(t)	0.25	0.5
標準揚程(m)	1.0	1.5
ロードチェーン線径(mm)×掛数	4×1	5×1
荷重の下限度(N.m)	206	255
質量(kg)	1.9	2.9
寸法	A	94.5
	B	35
	C	84
	H(min)	230
	L	163
	D	34
	K	21

※ 上記の仕様は、予告なしに変更することがあります。

■ 動作条件

- 使用温度範囲：0℃～+60℃
- 使用湿度範囲：100%以下（水中では使用しないでください）

3 操作方法

■ はじめに

- 重量物を取り扱う場合には思わぬ危険が伴う場合がありますので、必ず安全規則に従って次の点に注意してください。
- 操作の前に、作業エリア全体が安全であることを確認の上、はっきりと見渡せる状態で操作してください。出来ない場合は、2人以上で作業エリアを監視してください。

⚠ 警告

- 作業開始前に各部に亀裂、変形、傷、損傷、さび、ボルト・ナットの緩みなどがなくよく確認してください。

⚠ 注意

- 可動部、回転部分、ネジ山には、作業前(または定期的)に、マシン油かギア油を塗布または注油してください。

■ 吊り下げ前～下フックの高さ調節

無負荷の状態、切り替えレバー(②)を【図1】のように「中間」にします。
この状態でチェーン自由に調整が出来ます。

【図1】



【図2】



【図3】



■ 吊り上げ

- 1 下フックに荷物を掛けます。
 - 2 吊り上げチェーン(負荷側)(⑤)がびんと張るようにします。
 - 3 切替レバー(②)を【図2】の位置にし、時計回りに操作レバー(③)を動かして、吊り上げチェーン(負荷側)(⑤)に荷重がかかるようにします。
- ※ 負荷がかかると操作レバー (③) にラチェットが働きます。

■ 吊り下げ

- 1 切替レバー(②)を【図3】の位置にします。
- 2 操作レバー(③)を往復させ、荷物を下ろします。

⚠ 警告

- 切換スイッチが中間の状態チェーンを急激に引っ張らないでください。チェーンを急激に引っ張ると、ブレーキがかかる場合があり、ホイストの再調整が必要となります。

⚠ 注意

- 使用後は、泥や水気を拭き取って、吊り上げチェーンとフックの首の部分に、マシン油かギア油を塗布または注油してから保管してください(ブレーキライニングには絶対に油が付かないようにしてください)。

4 点検

警告

- 点検は、専門業者または事業者が定めた専門知識のある人が行ってください。
- 点検をするときは、必ず吊り荷がない状態で行ってください。
- 改造は絶対にしないでください。
- 保守点検で異常箇所があったときは、そのまま使用せず、直ちに補修してください。
- 修理は、取り外し地面に降ろして行ってください。
- 可動部、回転部分、ネジ山には、作業前(または定期的)に、マシン油かギア油を塗布または注油してください。

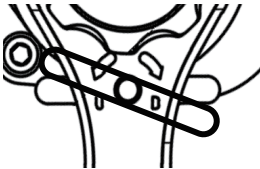
注意

- 保守点検をするときは、作業中であることを示す【作業中】表示を必ず取り付け、誤って使用されないようにしてください。

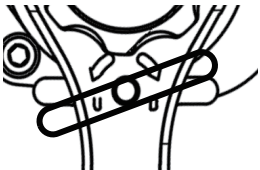
点検基準 (1)

点検内容	点検の種類		点検項目	点検方法	点検基準
	日常	定期			
機能	○	○	軽負荷性能	定格重量5%の負荷で高さ30cm程度の巻上げ・巻下げ操作を行う	・ 巻上げ・巻下げの作動が、スムーズであること ・ 巻下げ時にすべりのないこと
	—	○	定格負荷性能	定格重量の負荷で高さ30cm程度の巻上げ・巻下げ操作を行う	・ 巻上げ時、操作レバー戻し時に「カチカチ」と鳴ること ・ 巻上げ・巻下げの作動が、スムーズであること ・ 巻下げでブレーキに異常がないこと
	○	○	遊転性能	切替レバーを「中間」位置にし、吊り上げチェーンの端を引く	チェーンの長さがスムーズに調整できること
	○	○	巻上下性能	・ 切替レバーを「吊り上げ」位置にして時計回りに操作レバーを動かす。【図1】 ・ 切替レバーを「吊り下げ」位置にして反時計回りに操作レバーを動かす。【図2】	操作レバーが「カチカチ」と鳴ること
本体	○	○	銘板、警告ラベル	目視	表示(銘板、ラベル)の有無、読めない場合は取り替えること
	○	○	締め付け	目視	ナットや割りピンなどの有無、ナットに緩みがないこと
	○	○	変形損傷	目視	・ 外観が大きく変形したり、著しい傷がないこと ・ ハンドホイールが破損していないこと ・ 他の露出部分が損傷していないこと

【図1】



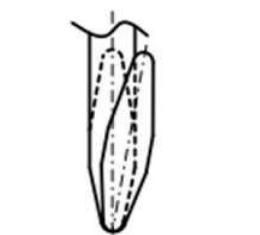
【図2】



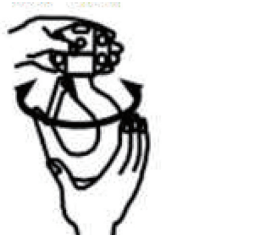
点検基準 (2)

点検内容	点検の種類		点検項目	点検方法	点検基準
	日常	定期			
上下フック	—	○	フック変形	ゲージ測定	フック変形測定値が表1の基準値を超えていないこと
	○	○	フック先端変形	目視	フック先端の変形が10°を超えていないこと【図3】
	○	○	消耗	ゲージ測定、外観点検	フック本体の測定値が表1の基準値を超えていないこと ・ 著しい摩耗、または腐食がないこと
	○	○	フック本体の回転	手で回す	フック本体が360°スムーズに回転すること【図4】
	○	○	フッククラッチ	目視、作動	・ フック先端の内側にしっかりと接していること ・ スムーズに動くこと
吊り上げチェーン	—	○	摩耗	ゲージ測定	5リンクピッチの和と線径が表2の測定値を超えていないこと
	○	○	ねじれ、傷	目視	・ チェーンにねじれなどの変形がないこと ・ チェーンに深い切り込み傷、圧痕のないこと
	○	○	腐食(錆)	目視	チェーンに著しい腐食(錆)がないこと
	○	○	割れ	目視	チェーン溶接部に亀裂がないこと
下フック止めボルト、ナット	○	○	変形	目視	・ 下フック止めボルト、ナットを曲げたり変形させたりしないこと ・ ナットに変形、傷がないこと ・ ゆるんだり脱落していないこと
リミッター			変形損傷	目視	・ リミッターが変形したり、著しい傷がないこと ・ 吊り下げチェーン(遊び側)の端に取り付けられていること

【図3】



【図4】



フックの点検

警告

- 上下フックを点検し、次の状態が確認された場合は、必ず交換してください。
 - 屋外(雨天の屋外は特に危険です)
 - 湿った場所、濡れた場所
 - 直射日光下
 - 周辺温度が40℃以上になるような高温の場所
 - 可燃性の液体やガスのある場所

吊り下げチェーンの点検

警告

- 吊り上げチェーンを点検し、次の状態が確認された場合は、必ず交換してください。
 - ピッチの伸び
 - 傷や変形
 - さび

5 メンテナンス

- メンテナンスを怠ると重傷または死亡に至る可能性があります。必ず行ってください。
- メンテナンスおよび修理は、本製品の扱いに慣れた人が行ってください。本製品の性能や原理を理解していない人は、絶対に本製品を分解しないようにしてください。

⚠ 警告

- ホイストのメンテナンスを行った後は、必ず使用前にホイストの安全性を確認してテストしてください。

⚠ 注意

- チェーンなど作動部に手や衣服が巻き込まれないように常に注意してください。
- メンテナンス時には絶対にホイストを運転しないでください。
- 荷重を支持しているホイストのメンテナンスは絶対に行わないでください。
- 汚れや水分は必ず拭き取ってください。
- ホイストは常に乾燥した清潔な場所に保管してください。

■ 給油

- チェーン、フック、ツメ等の動作部には必ず機械油を十分に塗布するしてください。

※：推奨潤滑油は、#3 グリースです。

⚠ 注意

- 使用頻度に応じて、毎週またはより頻繁に給油してください。

6 保管

- 使用後は、汚れを落とし、各回転部品と吊り上げチェーンにマシン油またはギア油を塗って、乾燥した場所に置いてください。
- 長期間使用しない場合は、水気や高温多湿、塵、ホコリを避け、清潔で乾燥した場所に保管してください。

7 廃棄

- 本製品を廃棄する場合は、使用できないように分解し、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。

8 使用制限について

- 本製品は、荷を吊り上げたり、水平や斜め方向に引き寄せたり、荷を締め付けたりする用途にお使いください。
- 人間の運搬および移動などには使用しないでください。
- 設備機械などの一部として、本製品を組み込んで使用しないでください。

9 使用者について

- レバーホイストのご使用について法規上特段の規制はありませんが、操作および使用する方は、安全作業のために玉掛け技能の講習を受講されることを推奨します。
- この取扱説明書および関連製品の取扱説明書を熟読し、内容を理解した上で、操作および使用してください。
- 操作および使用する方は、正しい服装と保護具を着用して行ってください。